

生駒市立鹿ノ台中学校

第1号



# 校長室だより

令和5年4月11日

4月6日の始業式に続き、昨日の入学式で83名の1年生を迎えました。多くの方が新しい環境に少しずつ慣れつつある頃だと思います。1年生の皆さんは、まだわからないことや知らないことがたくさんありますが、先生方や先輩方から教えてもらいながら、一つずつ覚えていってください。

新年度のスタートにあたって 式辞の中で話した、目標にしてほしいことを改めて紹介します。

## 【入学式式辞より】

一つ目は、「高い志を持ち、夢や希望に向かって、粘り強く挑戦していく」ということです。本校で学ぶ三年間は、皆さんの将来の夢や希望の実現に向けて、一步一步を進めていく大切な期間です。ご家族や先生方のサポートを受けながらも、皆さんが主体的に自分で歩いていかなければなりません。その道しるべとなるのが、「高い志」です。目標を高く掲げることで、自分が中学校生活で取り組むべき道が見えてきます。取り組む中では、時に困難が待ち受けていることもあるでしょう。しかし、人は、どんなに高い壁でも、強い決意と自信を持っていれば、乗り越えることができます。そのためには、何事もあきらめず、粘り強く、積極的に行動することが必要です。皆さんの夢や希望の実現のために、ぜひ、「高い志」を掲げて中学校生活を送ってください。



二つ目は、「人と共に生きる力を身につける」ということです。皆さんがこれから中学校で学び、身につけていく様々な学力や能力は、人と共に生きる力があって、はじめて社会で生かすことができます。そのためには、相手の思いを理解したり、自分の思いを理解してもらったりすることが何より大切です。相手を受け入れようという姿勢、相手を理解しようという姿勢があれば、自分の思いも、相手に伝わっていきます。「相手を認め、思いやる心、真心」を持って、「感謝の気持ちを忘れず、人に優しくする態度」を大切に、人のために尽くして物事に当たれば、必ず思いは伝わり、心を動かすことができます。

## 【始業式式辞より】

鹿中生になってから1年・2年がたち、新2年生、新3年生へと進級しますが、入学したときの初心は今も心の中にありますか。今日、新しい学年のスタートにあたって、入学の時の新鮮な気持ちで、「今度はこうしよう」と思った初心を思い出し、思い出してほしいと思います。人間は慣れてしまうと、つい、惰性、つまり「いつもと同じでいいや」という雰囲気になれやすくなります。昨日があったから今日があり、今日があるから明日があるのですが、昨日と変わらない今日、今日と変わらない明日の連続ではなく、昨日の上に今日を重ね、今日の上に明日を重ねながら、1日ずつ、一歩ずつ向上していきたいものです。

入学の時に抱いていた、あの新鮮な気持ちと、「こうしよう」と思った初心を思い出して、今度こそ、新2年生として、新3年生として、「今、ここから、こうしよう」という決心をもって、よいスタートを切ってほしいと思います。

～◇新しくお迎えした先生方の紹介◇～

○国語 小椋 夕渚 先生

○数学 元庄矢 雅彦 先生

○英語 岡田 恵美子 先生

○英語 前田 紗由美 先生

○音楽 工藤 和也 先生



## 保護者の皆さまへ

校長の依田麻衣子と申します。ご縁に恵まれ、鹿ノ台中学校で2年目を迎えることとなりました。生徒とともに教職員一丸となって、教育活動に取り組む所存です。どうか、ご理解とご支援賜りますようお願いいたします。